D01172901E

ESOTERIC

G-01

取扱説明書

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く

万一、異常が起きたら

煙が出たり、変なにおいや音がするときは
機器の内部に異物や水などが入ったときは
この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは

すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター（24ページに記載）に修理をご依頼ください。

禁止

電源コードを傷つけない
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない
電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（24ページに記載）に交換をご依頼ください。

電源プラグにほこりをためない

電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。

機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない

内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

禁止

この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(20cm以上)離して置く
ラックなどに入れるときは、機器の天面から15cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける
すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

付属の電源コードを他の機器に使用しない
故障、火災、感電の原因となります。

指示

電源プラグにほこりをためない
電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。
定期的 (年1回くらい) に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。

禁止

機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない
内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解禁止

この機器のカバーは絶対に外さない
カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (24ページに記載) にご依頼ください。

この機器を改造しない
火災・感電の原因となります。

愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター (24ページ) に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。

	注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く **通電状態の放置やお手入は、漏電や感電の原因となることがあります。**
 指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器は13kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
 禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。

目　次

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室 (24ページに記載) にご連絡ください。

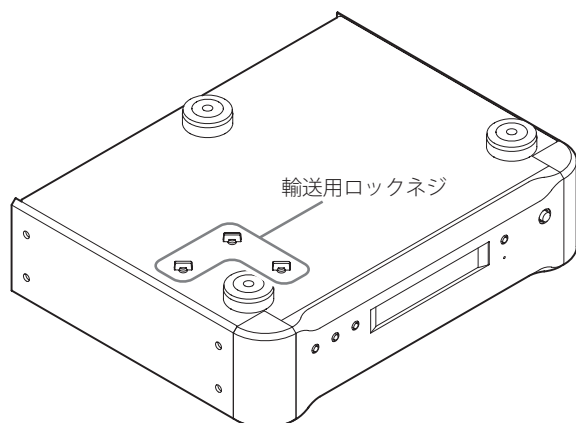
電源コード×1
取扱説明書×1
ご愛用者カード×1

使用上の注意

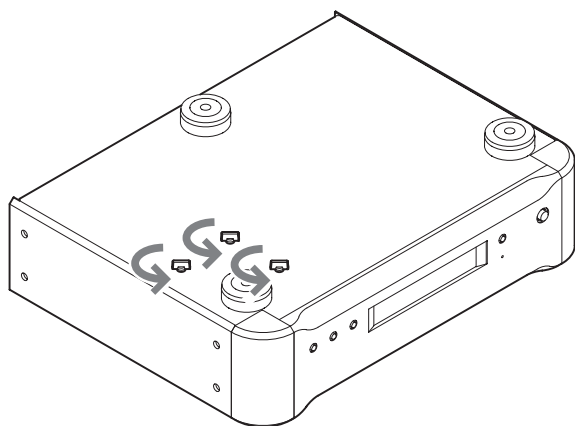
- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 安定した場所に設置してください。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

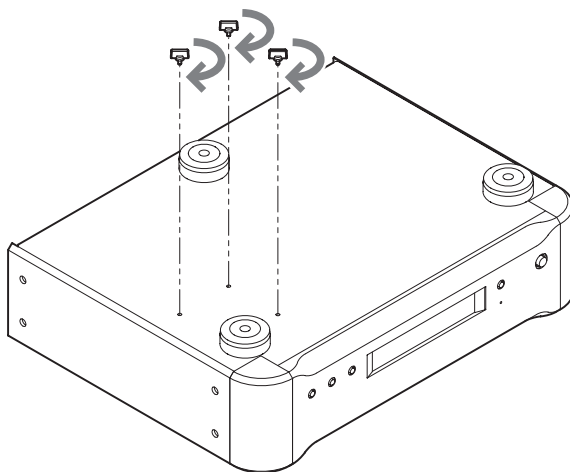
輸送用ロックネジについて

G-01は音質向上の目的で、ルビジウムユニットの取付けに遊びを持たせた構造になっています。
そのため輸送時の振動からルビジウムユニットを守るために底面に輸送用ロックネジを取付けて出荷しています。

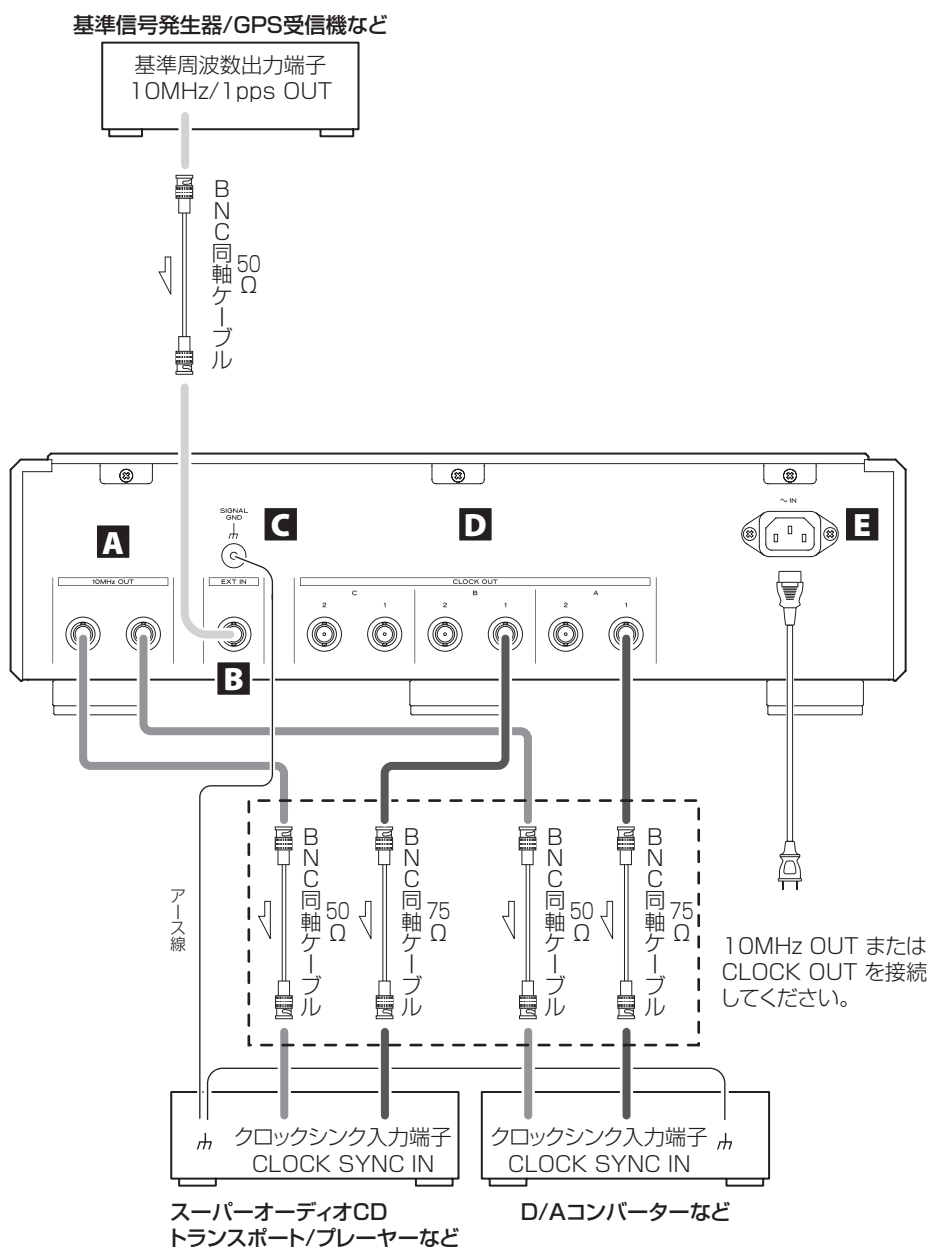
- 外した輸送用ロックネジは本機を輸送するときに必要となりますので、無くさないように保管してください。

本機を設置する前に

本機を設置する前に輸送用ロックネジ (3本) を外してください。

- 外したネジは輸送時に必要となりますので、無くさないように保管してください。

本機を輸送するときは

本機を輸送するときは設置時に外した輸送用ロックネジ (3本) をしっかり取り付けてください。

接　続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- クロックシンク／ワードシンク以外の接続については、各機器の取扱説明書をお読みください
- CDトランスポートとD/Aコンバーターのようなセパレート機をお使いの場合は、両方の機器に本機からのクロックを入力してください。

A 10MHz出力端子 [10MHz OUT]

10MHzのクロック信号 (サイン波、出力レベル0.5Vrms、出力インピーダンス50Ω) を出力します。

本機のCLOCK OUT端子と10MHz入力対応のデジタル機器 (CDプレーヤー、D/Aコンバーターなど) のクロックシンク入力端子またはワードシンク入力端子を、市販のBNC同軸ケーブル (インピーダンス50Ωのもの) で接続してください。

- 10MHz出力のON/OFFは10M OUT端子の設定 (10MOUT>***) で選択します。 (17ページ)

B 基準発振周波数入力端子 [EXT IN]

外部の基準信号発生器 (10MHz出力) /GPS受信機 (1pps/10MHz出力) を入力する場合は、基準信号発生器/GPS受信機の出力端子と本機のEXT IN端子を、市販のBNC同軸ケーブル (インピーダンス50Ωのもの) で接続してください。(11、12ページ)

- 発振器の出力レベルが本機の入力可能範囲外の場合は、使用できません。発振器の出力レベル、精度については発振器の取扱説明書をご覧ください。

C アース端子 [SIGNAL GND]

接続する機器 (デジタル機器やアンプなど) とアース接続すると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

D クロック出力端子 [CLOCK OUT]

クロック信号 (矩形波、TTLレベル、出力インピーダンス75Ω) を出力します。

本機のCLOCK OUT端子とデジタル機器 (CDプレーヤー、D/Aコンバーターなど) のクロックシンク入力端子またはワードシンク入力端子を、市販のBNC同軸ケーブル (インピーダンス75Ωのもの) で接続してください。

- 周波数はフロントパネルのA、B、Cボタンを押して切り換えてください。 (11、12ページ)
- クロックの基本周波数は周波数モードの設定 (FREQ)で選択します。 (17ページ)

E 電源コード

電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 本機の電源コード接続ソケットは3ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ **エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。**
また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください

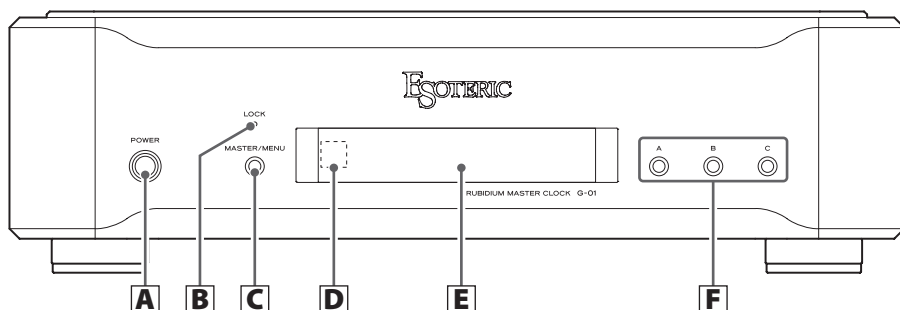
電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分の極性表示マーク (▲) は、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き (極性) によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。

エソテリックでは、リファレンスとしてエソテリック MEXCEL ストレスフリーケーブルを使用しています。
詳細については下記ウェブサイトをご覧ください。

http://www.esoteric.jp/products/esoteric/accessory/index.html

各部の名称

A 電源ボタン [POWER]

電源のオン/オフを切り換えます。
電源がオンのときは、ボタンの周囲が青く光ります。

- 電源スイッチをオンにすると、Rubidiumユニットを動作温度までプリヒートさせます。発振周波数が安定するまで約10分かかります。

⚠ 長期間使わない場合は、本機の電源スイッチをオフにしてください。

B ロックインジケーター [LOCK]

クロックの状態を表示します。
ロック/プリヒート中やエラー時に点滅し、完全にロックすると点灯します。
インジケーターの色は、基準クロックにより変わります。
内蔵の基準クロックを使用して動作しているとき (Rubidium、Rb+EXT1pps、Rb+EXT10M) は青、EXT IN端子より入力した10MHzを基準周波数として動作しているとき (EXT 10M-IN) は緑になります。

C マスター/メニューボタン [MASTER/MENU]

設定モードになります。（16ページ）
2秒以上押すと基準クロックを切換えます。（11ページ）

D リモコン受光部

リモコンから送られる信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

- 本機にリモコンは付属していません。
- エソテリック製品付属リモコンでディマーの変更ができます。（18ページ）

E ディスプレー

出力されているクロックの周波数 (通常表示) や設定画面、エラーメッセージが表示されます。

- 通常表示では、出力ONに設定されている系統のうち、最後に設定を変更した系統の系統名および出力周波数を表示します。
- クロック出力(A,B,C)がすべてOFFのときは、10M OUT端子の設定(10MOUT>***)により、以下のように表示します。
  10MOUT>OFFのとき、「NO OUTPUT」
  10MOUT>ONのとき、「10MHz OUT」

F 周波数切換ボタン [A/B/C]

クロック出力端子から出力するクロックを設定します。（13ページ）

- 設定モードのときは以下の操作に使用します。
  Aボタン：設定モードを抜ける
  B、Cボタン：設定項目の選択

Rubidium発振器

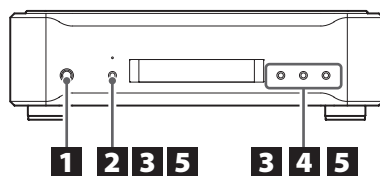
本機の基準となるマスタークロックにはRubidium (ルビジウム) 発振器を搭載しています。
Rubidium発振器は非常に高精度・高安定なためGPS衛星に載せられるなどの用途で用いられていますが、加えて本機では短期安定度や波形品質、校正なしに長年に渡り使用できることなどハイエンドオーディオ用クロックとしての要求に最適なRubidiumユニットを採用しています。

本機の出荷時設定であるRubidiumモードでは、内蔵のRubidiumを基準クロックに使用します。
本機のRubidiumユニットは±0.05ppb (出荷時) の周波数精度と−20℃〜65℃で±0.1ppb未満の周波数安定度を持ち、非常に安定したオーディオクロックの供給を可能としています。

GPS受信機を接続してGPSと連携した動作にも対応します。
GPSの1pps信号をEXT INに入力してRb+EXT1ppsモードを選択すると、内蔵のRubidiumをGPSに追従させて動作することができます。

多くの場合GPS受信機の出力は、短期安定度はGPS受信機に依存するものの長期安定度はGPS衛星に依存するため、このモードにより本機はRubidiumの高品質を活かしつつGPS衛星の長期安定性 (0.001ppb程度) による中心精度へ同期することができます。
Rubidiumが同期するためには、1pps入力信号にはGPS相当の中心精度と安定性が必要です。

また、1pps出力のないGPS受信機をお持ちの場合はRb+EXT10Mモードを選択することにより、GPS受信機の10MHz出力から本機内部で1pps信号を生成してRubidiumをGPSに同期させて動作することができます。

基本操作

1 本機の電源スイッチをオンにする。

電源インジケーターが点灯します。

- 電源スイッチをオンにすると、Rubidiumユニットを動作温度までプリヒートさせます。プリヒート中はロックインジケーター [LOCK] が点滅し、ディスプレーに「Rb LOCKING」と表示されます。

2 マスター/メニューボタン (MASTER/MENU) を2秒以上押して基準クロックを選ぶ。

マスター/メニューボタン (MASTER/MENU) を2秒以上押すたびに基準クロックが切り換わります。

Rubidium
　内蔵のRubidiumを基準クロックに使用します。

Rb+EXT1pps
　GPSの1pps信号をEXT INに入力してこのモードを選択すると、内蔵のRubidiumをGPSに同期させて動作することができます。

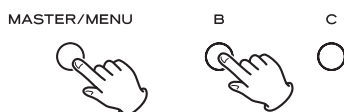
Rb+EXT10M
　1pps出力のないGPS受信機をお持ちの場合、GPS受信機の10MHz出力をEXT INに入力してこのモードを選択すると、本機内部で1pps信号を生成してRubidiumをGPSに同期させて動作することができます。

EXT 10M-IN
　EXT INから入力した10MHzを基準クロックに使用します。内蔵のRubidiumは使用されません。

次のページに続きます。➡

● Rubidiumユニットと1pps信号の同期には約10分かかります。
同期中はロックインジケーター［LOCK］が点滅し、ディスプレーに「1ppsLCKING」と表示されます。

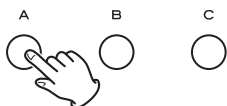
3 クロックの基本周波数(44.1kHz/48kHz)を選ぶ。

マスター/メニューボタンを押して「FREQ」メニューを表示させ、B、Cボタンを使って周波数モードを選んでください。(16、17ページ)

44 (44.1kHz)
CDやスーパーオーディオCDなどのソースを再生します。

48 (48kHz)
DVDやDATなどのソースを再生します。(一部のDVDやDATは44.1kHz系列で記録されています。その場合は44.1kHzを選択してください。)

● ユニバーサルクロック(100kHz/10MHz)のみ使用する場合は、どちらを選んでも構いません。

● 「44EXP」、「48EXP」モードは「44」、「48」モードで設定できない周波数を設定するときのみ選択してください。(14、15ページ)

4 A、B、Cのボタンで、接続した機器が受けられる周波数を選ぶ。(13ページ)

5 10M OUT端子の設定 (ON/OFF) をする。

マスター/メニューボタンを押して「10MOUT」メニューを表示させ、B、Cボタンを使ってON/OFFを選んでください。(16、17ページ)

6 接続した機器のクロックシンク／ワードシンクをオン (またはスレーブ動作) にする。

クロックシンク／ワードシンクの設定方法については、接続した機器の取扱説明書をお読みください。

当社以外の機器に接続する場合は、その機器の受けられる周波数についてその機器の取扱説明書をよくお読みください。
機器によっては、クロックの周波数をオーディオ信号のサンプリング周波数と同じにする必要があります。
また、Dual AES接続の場合はオーディオ信号のサンプリング周波数の半分にする必要のあるものもあります。

● 本機を使わないときは、電源スイッチをオフにしてください。

● 設定した内容は、電源を切っても保持されます。

● 一度設定すれば、次回からは電源スイッチをオンにするだけでお使いになれます。
再生するディスクまたは機器によっては、周波数モードを切り換えてください。(17ページ)

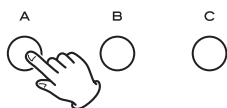
クロック出力周波数の設定

CLOCK OUT端子より出力するクロックの周波数を設定します。

● 本機のクロック出力はA/B/Cの3系統からA1/A2/B1/B2/C1/C2の最大6系統に分割することができます。系統毎に任意のクロック周波数が設定できます。

● 出荷時設定ではA/B/Cの3系統を設定します。

A/B/Cを設定するには(出荷時設定)

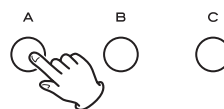
Aの設定を変えるとA1/A2の出力周波数が同時に変わります。B、Cも同様です。

「A >」、「B >」、「C >」表示中にA/B/Cの各ボタンを押す毎に出力周波数が変わります。

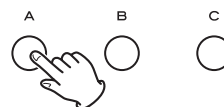
● 「A」、「B」、「C」ボタンを2秒以上押すと、A2/B2/C2の設定に切り換わります。(「A2/B2/C2を設定するには」参照)

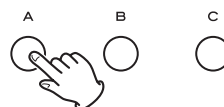
● 10秒以上放置すると設定を終了して通常の表示に戻ります。(DISPの設定がSHORTの時は3秒)

A1/A2/B1/B2/C1/C2を設定するには

Aボタンを2秒以上押して「A2>」を表示させ、Aボタンを押してA2の設定を切替えると、A1とA2それぞれに異なるクロックの周波数設定ができます。B、Cも同様です。

A1/B1/C1を設定するには

A2の設定を「A2=A1」以外にした場合、「A1>」表示中にAボタンを押す毎に出力周波数が変わります。B、Cも同様です。

A2/B2/C2を設定するには

2秒以上押す

A/B/Cの各ボタンを2秒以上押すとA2/B2/C2の設定表示になります。

「A2>」表示中にAボタンを押す毎に出力周波数が変わります。B、Cも同様です。

● A2を設定した後にA1を設定するには、通常の表示に戻ってからAボタンを押します。

● A2の設定を「A2=A1」にすると、通常表示の「A」に戻り、A1/A2の出力周波数が同時に変わります。B、Cも同様です。(「A/B/Cを設定するには」参照)

クロック出力周波数の設定（続き）

設定可能な周波数

周波数モードの設定（FREQ）によって設定可能な周波数が変わります。（17ページ）

周波数モード（FREQ）の設定が44の場合

OFF
　クロックを出力しません。

44.1k
　基本周波数44.1kHzのクロックを出力します。

88.2k
　44.1kHzの2倍の88.2kHzのクロックを出力します。

176.4k
　44.1kHzの4倍の176.4kHzのクロックを出力します。

22.5MHz
　44.1kHzの512倍の22.5792MHzのクロックを出力します。

100kHz
　100kHzのクロックを出力します。

10MHz
　10MHzのクロックを出力します。

A2 = A1
　A2に出力するクロックをA1と同じクロックにして同時に切換えます。
　A2のクロック設定時のみ表示されます。

B2 = B1
C2 = C1
　B、Cも「A2=A1」と同様です。

周波数モード（FREQ）の設定が48の場合

OFF
　クロックを出力しません。

48kHz
　基本周波数48kHzのクロックを出力します。

96kHz
　48kHzの2倍の96kHzのクロックを出力します。

192kHz
　48kHzの4倍の192kHzのクロックを出力します。

24.5MHz
　48kHzの512倍の24.576MHzのクロックを出力します。

100kHz
　100kHzのクロックを出力します。

10MHz
　10MHzのクロックを出力します。

A2 = A1
　A2に出力するクロックをA1と同じクロックにして同時に切換えます。
　A2のクロック設定時のみ表示されます。

B2 = B1
C2 = C1
　B、Cも「A2=A1」と同様です。

周波数モード (FREQ) の設定が44EXPの場合

OFF
クロックを出力しません。

44.1k
基本周波数44.1kHzのクロックを出力します。

88.2k
44.1kHzの2倍の88.2kHzのクロックを出力します。

176.4k
44.1kHzの4倍の176.4kHzのクロックを出力します。

352.8k
44.1kHzの8倍の352.8kHzのクロックを出力します。

705.6k
44.1kHzの16倍の705.6kHzのクロックを出力します。

1.4MHz
44.1kHzの32倍の1.4112MHzのクロックを出力します。

2.8MHz
44.1kHzの64倍の2.8224MHzのクロックを出力します。

5.6MHz
44.1kHzの128倍の5.6448MHzのクロックを出力します。

11.2MHz
44.1kHzの256倍の11.2896MHzのクロックを出力します。

22.5MHz
44.1kHzの512倍の22.5792MHzのクロックを出力します。

100kHz
100kHzのクロックを出力します。

10MHz
10MHzのクロックを出力します。

A2 = A1
A2に出力するクロックをA1と同じクロックにして同時に切換えます。
A2のクロック設定時のみ表示されます。

B2 = B1
C2 = C1
B、Cも「A2=A1」と同様です。

周波数モード (FREQ) の設定が48EXPの場合

OFF
クロックを出力しません。

48kHz
基本周波数48kHzのクロックを出力します。

96kHz
48kHzの2倍の96kHzのクロックを出力します。

192kHz
48kHzの4倍の192kHzのクロックを出力します。

384kHz
48kHzの8倍の384kHzのクロックを出力します。

768kHz
48kHzの16倍の768kHzのクロックを出力します。

1.5MHz
48kHzの32倍の1.536MHzのクロックを出力します。

3.0MHz
48kHzの64倍の3.072MHzのクロックを出力します。

6.1MHz
48kHzの128倍の6.144MHzのクロックを出力します。

12.2MHz
48kHzの256倍の12.288MHzのクロックを出力します。

24.5MHz
48kHzの512倍の24.576MHzのクロックを出力します。

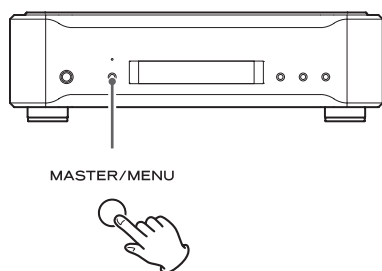
100kHz
100kHzのクロックを出力します。

10MHz
10MHzのクロックを出力します。

A2 = A1
A2に出力するクロックをA1と同じクロックにして同時に切換えます。
A2のクロック設定時のみ表示されます。

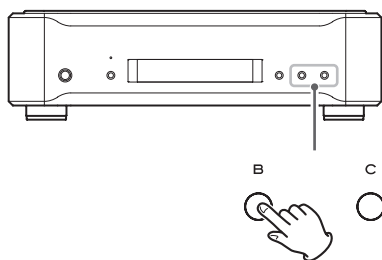
B2 = B1
C2 = C1
B、Cも「A2=A1」と同様です。

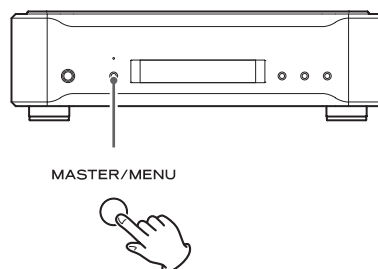
設定モード

1 マスター/メニューボタンを押す。

マスター/メニューボタン押すたびに以下のようにディスプレーの表示が変わります。

10MOUT
↓
FREQ>***
↓
DISP>***
↓
(DIMMER>***)
↓
MASTER(基準クロック表示)
↓
通常表示

- DIMMERはDISPの設定がONのときに表示されます。

2 B、Cボタンを使って、設定を変更する。

各設定内容については、17〜18ページをお読みください。

3 マスター/メニューボタン押して通常表示にする。

Aボタンを押すか、10秒以上放置しても設定を終了して通常の表示に戻ります。

- DISPの設定がSHORTのときは3秒以上放置すると設定を終了して通常の表示に戻ります。（18ページ）

- 設定した内容は、電源を切っても保持されます。

10M OUT端子の設定 (10MOUT>***)

10MHz OUT端子の出力ON/OFFを切替えます。

OFF
10MHz OUT端子の出力をOFFにします。

ON
10MHz OUT端子の出力をONにします。

周波数モードの設定 (FREQ>***)

クロックの基本周波数を44.1kHz/48kHzから選択します。併せて、出力可能な周波数を拡張した、EXPモードへの切替えも行います。

- 基本周波数は再生するソースによって以下のように選択してください。

  44.1kHz
  CDやスーパーオーディオCDなどのソースを再生します。

  48kHz
  DVDやDATなどのソースを再生します。(一部のDVDやDATは44.1kHz系列で記録されています。その場合は44.1kHzを選択してください。)

- 100kHzおよび10MHz出力は、どの設定を選択しても出力可能です。

44
基本周波数を44.1kHzに設定します。
設定可能な周波数は44.1/88.2/176.4kHz、22.5792MHzです。

48
基本周波数を48kHzに設定します。
設定可能な周波数は48/96/192kHz、24.576MHzです。

44EXP
基本周波数を44.1kHzに設定します。
設定可能な周波数は44.1/88.2/176.4/352.8/705.6kHz、1.4112/2.8224/5.6448/11.2896/22.5792MHzです。

48EXP
基本周波数を48kHzに設定します。
設定可能な周波数は48/96/192/384/768kHz、1.536/3.072/6.144/12.288/24.576MHzです。

ディスプレー表示の設定 (DISP>***)

クロックの周波数が表示されているときのFLディスプレー表示をON/LONG/SHORTから選択できます。

- FL表示管は、同じ表示状態で長時間使用し続けると、輝度ムラが起こることがありますので、LONGまたはSHORT設定での使用をお勧めします。

ON

常時、FL表示を点灯するモードです。
FL表示管の明るさはディマー設定で行います。

LONG

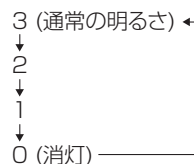
通常表示が続き、約20秒間操作の無い状態が続くと、FL表示が自動的に消灯します。

SHORT

通常表示が続き、約3秒間操作の無い状態が続くと、FL表示が自動的に消灯します。

ディマー設定 (DIMMER>***)

FL表示管、LEDインジケーターの明るさを4段階で調節することができます。
DISPの設定がONの場合のみ設定できます。

- 本機はP-05、K-05などのエソテリック製品付属のリモコンのDIMMERボタンでも操作できます。

- 「0 (消灯)」を選ぶと、ディスプレーとインジケーターが消灯します。
- 消灯中にキー操作をすると、数秒間だけディスプレーが点灯します。
- 「3 (通常の明るさ)」以外が選択されていても、エラー表示や設定メニュー表示を行っている時は、通常の明るさになります。

メッセージ一覧

PLL LCKING

内蔵の発振器 (Rubidium) またはEXT INから入力した10MHzの基準クロックを内部PLL回路にロック中です。
ロックを完了すると、メッセージ表示を終了します。

- 通常、ロック完了までの時間 (PLLロックタイム) は数秒間ですが、動作温度等の条件により、1分程度かかる場合があります。
- EXT 10M-INのとき、入力条件を満たしていない場合には、ロックを完了できないため、メッセージ表示を継続します。
  入力した基準クロックを確認してください。

Rb LOCKING

Rubidiumユニットの出力を安定化中 (プリヒート時や基準クロック切換時) に表示されます。

1ppsLCKING

基準クロックがRb+EXT10M、Rb+EXT1ppsのときに表示されることがあります。
入力した10MHzの基準クロックを本機内で変換した1pp信号 (Rb+EXT10M) または入力した1ppsの基準クロック (Rb+EXT1pps) をRbユニットと同期中に表示されます。

- 同期には約10分かかります。
- 入力信号の精度が仕様を満たしていないと10分以上たっても同期が終わらず「1ppsLOCKING」が表示されたままになります。入力信号の精度を確認し、仕様を満たしていないときは基準クロックをRubidiumにしてください。

NO 10M-IN!

基準クロックがRb+EXT10MまたはEXT 10M-INに設定されていて、10MHzの基準クロックが基準発振周波数入力端子 (EXT IN) に入力されていないときに表示されます。
入力した基準クロックを確認してください。
外部の基準クロックを使用しないときは、 Rubidiumに切替えて使用してください。(11ページ)

NO 1ppsIN!

基準クロックがRb+EXT1ppsに設定されていて、1ppsの基準クロックが基準発振周波数入力端子 (EXT IN) に入力されていないときに表示されます。
入力した基準クロックを確認してください。
外部の基準クロックを使用しないときは、 Rubidiumに切替えて使用してください。(11ページ)

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源が入らない。

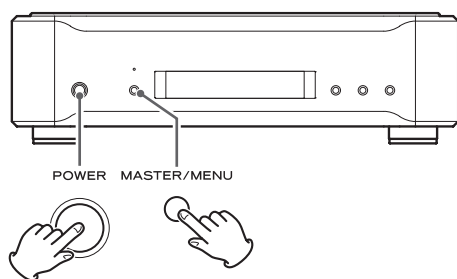
➡ 電源コードの差し込みを確認してください。
➡ 電源コードと本機の接続を確認してください。

クロック出力と同期できない。

➡ 本機が接続する機器と同期できないクロックを出力していないか確認してください。(接続機器に入力可能なクロック周波数を選択してください)
入力･同期できるクロックについては、各機器の接続方法や設定によって変わる場合がありますので、各機器の取扱説明書をお読みください。

A、B、Cボタンを押しても希望の周波数を選べない。

➡ 周波数モードの設定 (FREQ) で基本周波数を選んでから、A、B、Cボタンを押してください。(12ページ)

工場出荷時の状態に戻すには

設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

1. 電源をオフにする。

電源がオンだった場合は、オフにしてから30秒以上待ってください。

2. マスター/メニューボタン (MASTER/MENU) を押しながら電源ボタンを押す。

- 電源がオンになりディスプレーが点灯するまで、マスター/メニューボタン (MASTER/MENU) から指を離さないでください。

お手入れ

表面が汚れたときは乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

仕様

クロック出力

クロック出力端子 [CLOCK OUT]

44.1kHz系列

44.1/88.2/176.4/352.8/705.6kHz
1.4112/2.8224/5.6448/11.2896/22.5792MHz

48kHz系列. 48/96/192/384/768kHz
1.536/3.072/6.144/12.288/24.576MHz

共通. . . . . 100kHz、10MHz

端子. . . . . BNC

出力レベル. . . . . 矩形波 TTLレベル/75Ω

10MHz出力端子 [10MHz OUT] 10MHz

端子. . . . . BNC

出力レベル. . . . . サイン波 0.5±0.1Vrms/50Ω

基準周波数入力 [EXT IN]

入力周波数

Rb+EXT1ppsモード . . . . 1pps信号 (GPS精度以上)

Rb+EXT10Mモード. . . . . . . 10MHz (GPS精度以上)

EXT 10M-INモード . . . . 10MHz (±10ppm以内)

端子 . . . . BNC

入力レベル

10MHz. . . . . サイン波 0.5〜1.0 Vrms/50Ω
矩形波 1.5〜3.0 Vpp/50Ω

1pps信号 . . . . 正パルス TTLレベル/100kΩ

クロック安定時間

電源オンから発振器安定まで. 約10分

PLLロックタイム 約1分

1ppsロックタイム 約10分

周波数安定度. . . . . ±0.1ppb以内 (-20℃〜65℃)

周波数精度 . . . . ±0.05ppb以内 (出荷時)

(ppb=10^{-9})

一般

電源 . . . . AC 100V 50-60Hz

消費電力. . . . . . 85W (ウオームアップ時)、28W (安定時)

寸法(W×H×D) . . . . 445 x 131 x 360 (mm)

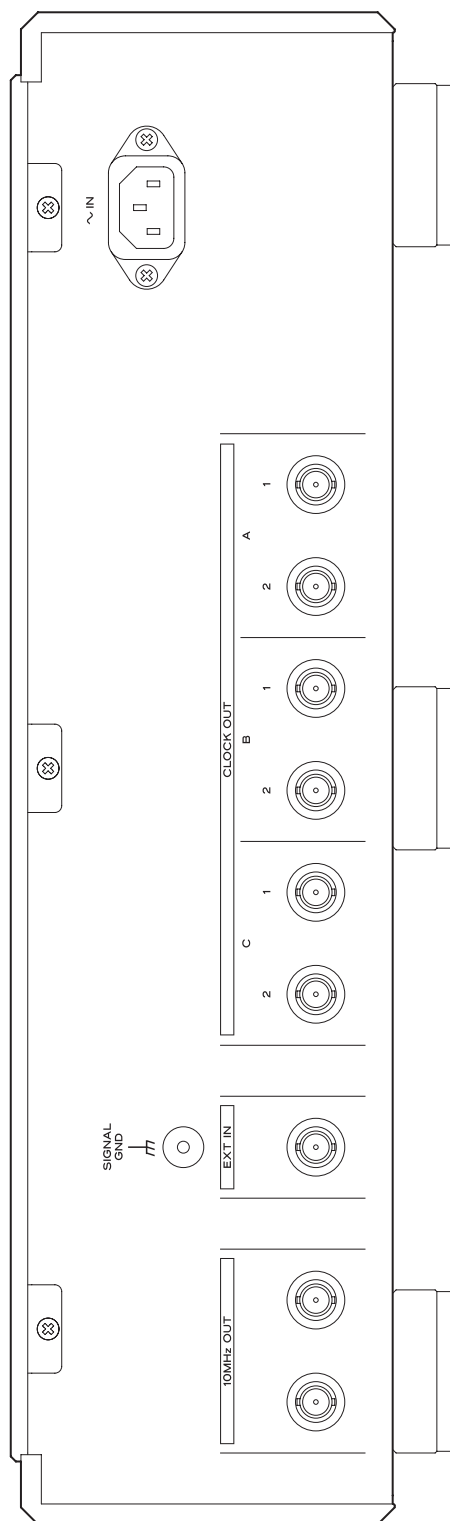
質量 . . . . 13 kg

許容動作温度 . . . . +5℃〜+35℃

付属品

電源コード × 1
ご愛用者カード × 1
取扱説明書 × 1

仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

リアパネル

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、ご購入後なるべく1ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日から5年です。

- 保証書発行には約 1 ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合 (6 ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等) は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
   (7) 保証書の提示がない場合
   (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (24ページ) にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

19ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (24ページ) にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代： 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名 : マスタークロックジェネレーター　G-01
シリアルナンバー :
お買い上げ日 :
販売店名 :
お客様のご連絡先
故障の状況 (できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

エソテリック株式会社

〒 206-8530　東京都多摩市落合 1-47　　http://www.esoteric.jp/

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。